

めあて

日本語についての自分の考えを意見文にまとめよう。

意見文を書くときの約束

- 八百字以上千二百字以内で書くこと。
- 「説明の技」を二つ以上使って書くこと。

筆者の「説明の技」

具体例

たくさんの具体例を挙げる。

見方を変える

物事に対する見方を変えて、新しい見方を示す。

問いかけ・語りかけ

読み手に質問したり話しかけたりする。

たとえ

読み手がイメージしやすいものにたとえて説明する。

【7・8 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」⑥
本時のねらい

日本語についての自分の考えを意見文にまとめさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 前時に作成した原稿メモを基に、前時の学習を振り返らせる。

○ 板書やワークシートを基に、意見文を書くときの約束を確認させる。

※ 児童の思考が途切れないように、2時間連続で行うことが望ましいです。
※ 板書やワークシートを基に、「説明の技」についても一度確認させましょう。

2 自分の意見を意見文にまとめる。

○ 原稿メモを基に、意見文を書かせる。

※ 「意見文用原稿用紙」（別紙）に書かせてください。意見文は文集にしますので、原稿用紙の大きさや向き、枚数などは、文集の形式に合わせて変更してください。

○ 「説明の技」を二つ以上使っているかを確認させるために、ワークシート⑥の表の下にあるチェックの枠に○を付けさせましょう。

3 意見文を推敲する。

○ 文字の間違いや表現がおかしいところがないか、何度も読み返させる。
※ 文集に掲載するので、十分に推敲させ、教師も目を通しておきましょう。

評価 日本語についての自分の考えを意見文にまとめている。

(読才)

4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ ワークシートに自己評価を記入させる。
○ 次時は、意見文を読み合い、感想を交流することを確認させる。